

2023 年 10 月 12 日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

**「三井化学クロップ&ライフソリューション×東北大学
バイオリジカルソリューション共創研究所」を開所**
-バイオリジカルソリューション研究とその社会実装の加速-

【発表のポイント】

- ・国立大学法人東北大学と、三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社は、『三井化学クロップ&ライフソリューション×東北大学 バイオリジカルソリューション共創研究所』を開設しました。
- ・革新的なバイオリジカルソリューションテーマの探索とその社会実装を追究します。

【概要】

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：大野英男、以下「東北大学」）と、三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：小澤敏、以下「MCCLS 社」）は、革新的なバイオリジカルソリューションテーマの探索とその社会実装を追究する研究拠点として『三井化学クロップ&ライフソリューション×東北大学 バイオリジカルソリューション共創研究所』を 2023 年 10 月 1 日に設置しました。本連携拠点は東北大学における共創研究所^{（注 1）}の制度を活用して東北大学青葉山キャンパスに設置するものです。



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

【詳細な説明】

設置の背景

MCCLS 社は事業活動を通じた社会課題解決への取り組みを進めており、2030 年の企業像として、「研究開発を基盤に、変化をリードし、製品・サービスを通じて持続可能な食と生活に貢献するグローバル・ソリューション・カンパニー」となることを目指しています。MCCLS 社の従来からの強みである化学農薬に加えて、2023 年 4 月に吸収合併した MMAG（旧 Meiji Seika ファルマ農薬事業）が強みとしてきた天然物創薬基盤を保有しております。2030 年の企業像実現のため、化学農薬と天然物農薬の両輪で成長を牽引するポートフォリオ変革（PX）を推進しています。

今回の取り組み

PX 実現に向け研究基盤の強化を目指し、MCCLS 社は今春、バイオリジカルソリューションリサーチセンターを新設し、バイオソリューション研究の強化に着手いたしました。共創研究所設置による東北大学とのオープンイノベーションにより、革新的技術を導入することで、研究開発とその社会実装の加速を目指して参ります。

【共創研究所概要】

1. 名称：

「三井化学クロップ＆ライフソリューション×東北大学 バイオリジカルソリューション共創研究所」

2. 活動内容：

微生物の二次代謝産物生産系を活用した新規農薬の創出と商業的生産法の技術確立をはじめとし、新たなバイオリジカルソリューションテーマの探索とその社会実装を追究する。

3. 運営体制：

（1）運営総括責任者

番場 伸一 特任教授（MCCLS 社 リサーチフェロー）

（2）運営支援責任者

浅井 禎吾 教授（東北大学大学院 薬学研究科）

その他、両者より研究員が参画

4. 設置場所：東北大学大学院薬学研究科（青葉山キャンパス内）

5. 設置期間：2023 年 10 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（3 年 6 か月）



図 1. 東北大学大学院薬学研究科外観

【用語説明】

注1. 共創研究所

東北大学内に企業との連携拠点を設けるとともに、東北大学の教員・知見・設備等に対する部局横断的なアクセスを可能とすることで、共同研究の企画・推進、人材育成、および大学発ベンチャーとの連携をはじめとする多様な連携活動を促進する制度。

【問い合わせ先】

東北大学 産学連携機構 産学共創推進部

TEL: 022-795-5275

E-mail : sangaku-suishin@grp.tohoku.ac.jp